からすま病院



NEWS



発行: 社会福祉法人京都社会事業財団

京都からすま病院

広報委員会



年頭のご挨拶

2024年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行したことを機に、京都からすま病院として初めての地域連携懇談会を同年11月に開催したところ、60名を超える地域の医療関係者にお集まりいただきました。紙面の上からでありますが、改めて御礼申し上げます。

2020年4月に職域病院であった京都警察病院から社会福祉 法人京都社会事業財団へ事業譲渡され、京都からすま病院とし てスタートいたしました。しかしながら、新型コロナウイルス感 染症によるパンディミックで当院のことを知ってもらう機会を 失したまま3年余りが過ぎていました。今回の地域連携懇談会 でようやく皆様に新しく生まれ変わった京都からすま病院の現 状と目指す医療についてご紹介することが出来ました。

当院は、一般急性期と回復期リハビリテーションの病床を有

し、地域の先生方や施設の皆様にご紹介いただいた消化器疾患や誤嚥性肺炎など急性期の患者さんを受け入れるとともに、高度急性期病院での手術後、リハビリテーションが必要な患者さん等を受入れています。今後も地域から求められている医療や介護サービス等との連携強化を図り、かかりつけ医機能を有する病院を目指してまいります。

尚、昨年秋より、地域の先生方のご要望にお応えして平日だけではありますが、通常の診療時間を午後6時30分まで延長して、ご紹介の患者さんをお受けする体制を整えました。また一昨年の12月には救急告示病院として認可を受け、救急医療にも積極的に取り組んでまいります。引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。

結びに、関係各位の御健勝と御活躍を祈念いたしまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。



2024年1月

京都からすま病院 院長 岡村 隆仁

第 1 回地域連携懇談会











令和5年11月18日(土)、地域連携懇談会を開催しました。地域医療機関・施設より64名の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。

第1部では、京都大学大学院医学研究科消化器内科学講座・教授 妹尾 浩 先生に「変わりゆく消化器疾患 ~最近の話題~」と題しご講演をいただいた後、当院外科部長斉藤 俊一・消化器内科医 高橋 綾による診療紹介を行いました。第1部終了後は、情報交換を兼ねた懇談会が開かれ、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

京都からすま病院としては、コロナ禍の影響で初めての開催となりましたが、対面の 良さを改めて実感した会となりました。今後も定期的にこのような交流の機会を設け、 近隣の医療機関・施設の皆様と「顔の見える関係」の構築に努め、連携を図ってまいり ます。引き続き、よろしくお願いいたします。

からすま健康クラブ

フレイルにならない・させない習慣づくりのヒントがいっぱいです! 次回、開催日の情報はもちろん、今までの実施した内容を動画で確認していただくこともできます。 **回城回**

※右記、QR コードから当院ホームページにアクセスください!

